

社会と歯科医療・チーム医療（大学間連携 IT 教育）（5 年）

コーディネーター： 補綴・インプラント学分野 近藤尚知 教授
歯科麻酔学分野 佐藤健一 教授
摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野 小林琢也 教授

第 5 学年 通年

講義
2.0 時間

教育成果（アウトカム）

我が国では超高齢社会の到来により、様々な基礎疾患を有する患者が、歯科を受診する率が高まっている。また一般医科病棟でも、当該の病気に加えて、口腔機能管理の重要性が増している。さらに、介護が必要な高齢者の増加と共に呼吸器感染症の予防や摂食嚥下機能の維持・回復のための口腔ケア等の重要性が高まっている。

そこで、医療の仕組みと高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状および多職種連携のチーム医療を理解し、口腔症状への対応の基本を e-Learning（三大学連携 IT 教育システム）を通して身につけることにより、国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン（口腔科医）に到達する。

（ディプロマ・ポリシー：1、2、3、4、5）

事前学修内容及び事前学習時間（30 分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9 月 31 日（火） 9：50 ～ 10：50	佐藤健一教授 （歯科麻酔学）	オリエンテーション 三大学連携 IT 教育の目的、使用設備と教材について理解する。	1. 三大学連携 IT 教育で学ぶ目標を説明する。 2. IT システムを利用できる。 3. ヴァーチャルペーシェントを利用できる。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①、 E-5-1)-②]
9 月 31 日（火） 11：00 ～ 12：00	小林琢也教授 （摂食嚥下・口腔 リハビリテーション学）	高齢者の全身疾患 IT 教材を用いて、全身疾患を有する高齢患者の身体的、心理的特徴について学ぶ。	1. 脳卒中の急性期症状と全身および口腔の機能について説明できる。 2. 高血圧の症状と全身および口腔の機能について説明できる。 3. 糖尿病の症状と全身および口腔の機能について説明できる。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①、 E-5-1)-②]

成績評価方法

IT 教材を利用した三大学共通試験，e-Learning 演習，演習に関するレポート（演習時の態度も重視）の結果から総合的に判定を行う。

備考

「高齢者に対するチーム医療」をテーマとし、IT教材を用いた演習を行う。

実施期間：4月5日（月）～2月22日（火）

演習担当教員：佐藤健一教授（歯科麻酔学分野）、

小林琢也教授（摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野）